

ピックアップ★

平成30年度公立高校の募集定員が決定しました

募集定員に変更のある高校 (人)

高校名	平成29年度	平成30年度	
前橋	320	280(▲40)	
前橋女子	320	280(▲40)	
高崎	320	280(▲40)	
高崎女子	320	280(▲40)	
桐生	280	240(▲40)	
桐生女子	200	160(▲40)	
館林	240	200(▲40)	
館林女子	240	200(▲40)	
富岡	160	(新)富岡	240(▲40)
富岡東	120		
中之条	120	(新)吾妻中央	200(▲40)
吾妻	120		

※富岡高校と富岡東高校、中之条高校と吾妻高校が統合し、(新)富岡高校、(新)吾妻中央高校が開校します。

中学校卒業見込者数の急減に対応するため、平成30年度は、これまで長く学級減を行ってこなかった学校などで学級減を実施します。

群馬県の公立高校における募集定員のこれから

平成30年3月から県内全ての地区で中学校卒業見込者数が大きく減少し、来年度以降、大幅な学級減を連続的に行っていく必要があります。

学級減については、本県の高校教育をさらに充実させていくため、全県的・長期的視野に立って、学校規模や地区及び学科のバランスを取りながら、年度ごとに決定していきます。

平成30年度公立高校募集定員と入学者選抜実施要項は、群馬県ホームページからご確認ください。



●問い合わせ：高校教育課 027-226-4645

ピックアップ★

約80年ぶり! 平成版『群馬県古墳総覧』刊行

今から約80年前、本県では古墳実数の把握のため、全国に先駆けて県下一斉の調査を行い、その成果を『上毛古墳総覧』としてまとめ上げ、県内に8,423基の古墳が存在することを明らかにしました。当時の調査の精度は非常に高く、本県における貴重な歴史資料として、これまで長く引き継がれてきました。

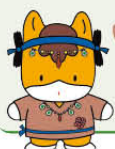
●今回の古墳総合調査で新たに分かったこと

県内古墳の総数は13,249基であり、そのうち、2,423基(部分的なものも含みます)が現存することが判明。

Check! 古墳総数は、東日本では千葉県に次ぎ2番目。現存する古墳は80年前と比べて約1/4に減少。

●群馬県古墳総覧にはこんなことが載っています

- ・県内の古墳の位置、名称、規模、形状等のデータ
- ・最新技術により立体的に古墳を把握した資料
- ・主要な古墳の発掘調査時の写真
- ・付録のCDには、各古墳の出土品や調査歴を収録



80年前に比べると、たくさんの古墳が無くなってしまっているんだ。群馬の宝である古墳を大切に、ずっと残していきたいね。

県教育委員会では、平成24年度から5年をかけ、本県を代表する歴史遺産である古墳について、総合的な大規模調査を実施しました。

その調査の成果を報告書としてまとめたものが『群馬県古墳総覧』です。

群馬県古墳総覧をしてみよう!

古墳総覧は県内の図書館、博物館、中学校、高校などでご覧になることができます。

自宅周辺にはどんな古墳があるのか、東日本最大の古墳大国と言われる群馬県にはどんな古墳があるのか、古墳総覧を通して、ふるさとの魅力を探してみてください。



●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4696